

平成27年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	警防課
	全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3781
事務事業名	4338 消防機械力整備事業											
所 属	450100 消防本部・消防本部・消防署											
施 策	03021500 消防・救急体制の充実											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	090101 消防費・消防費・常備消防費										
	事業	030000 消防機械力整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
消防車両及び資機材等の計画的な整備・更新を行い、消防力の充実強化を図る						経年機能低下する消防車両・資機材等の更新及び充実強化						

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
	補助事業を活用し、資機材搬送車及び人員搬送車を整備し、消防力の強化充実を図った
平成26年度 実績	平成27年度 予定
救助工作車及び救急車の更新	ポンプ2号車の更新

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		121,616	33,518
特定財源	国庫支出金	24,614	10,261
	都道府県支出金	0	0
	地方債	24,400	0
	その他	0	0
一般財源		72,602	23,257
人員数(人)	正規職員	0.5	0.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	3,429.0	1,371.6
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	3,429.0	1,371.6
市民一人当たりの経費		2.4	0.7
総額		125,045.0	34,889.6

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	121,616	手数料、保険料、車両購入費、重量税

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	33,518	手数料、保険料、車両購入費、重量税

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 消防力の整備充実に重要 消防組織法に基づく 	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	経年により性能低下する車両及び資機材を更新整備し、消防力が向上している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	補助事業により財源確保に努めている	

振り返り（決算年度の取組み課題）

最新型の機器を導入し高度な活動ができるよう努める。有利な補助事業にアンテナを張る。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
総合計画に沿って資機材更新ができた。		計画的な施設更新で消防力強化を推進する。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	